

トピックス **プラス**

11/22

中学生が税への関心を作文で表現

納税表彰式（市納税貯蓄組合連合会主催）が11月22日、市役所迫庁舎で行われました。式では納税成績の向上に努めたとして、5団体と納税功労者2人に横山節雄会長（東和）が賞状と記念品を授与。市内10中学校から571作品の応募があった「中学生の税の作文」の入選者も発表され、最優秀賞に阿部智美さん（新田中）の作品が選ばれました。



▲「税について思うこと」を発表した阿部さん

12/3

風呂敷の良さ・使いやすさを見直す

昔からある風呂敷の良さを見直そうと、「昭和の布・ふろしき実演会」が12月3日、歴史博物館で開催されました。「ふろしき研究会」会員でもある同館職員が講師。参加した風呂敷愛好者15人は、歴史や語源の学習後、真結び、平包みなどの伝統的な結び方や、ウエストポーチ、巾着袋などにも挑戦し、風呂敷の多様な用途に感心していました。



▲風呂敷を使ってティッシュボックスカバーに挑戦

12/3

威風堂々の演奏に観客から盛んな拍手

陸上自衛隊東北方面音楽隊の演奏会が12月3日、ホテルニューグランヴィアで開催され、親子連れら約600人が集まりました。音楽隊は54人編成で、年間100回におよぶコンサートや演奏会を東北6県で実施しています。この日はアニメメドレーなど8曲を演奏。トロンボーンなどのソロ演奏もあり、会場から盛んに拍手が送られました。



▲音楽隊の迫力ある演奏を間近で鑑賞できました

12/9

夜回り先生が命の尊さを熱く語る

夜回り先生こと水谷修さんによる、人権講演会「病みゆく子どもたち」が12月9日、なかだアリーナで開催され、約2,000人が聴講しました。水谷さんは青少年の非行や薬物使用などに関するこれまでの相談話、深夜パトロールでの体験談などを講話。会場には一般の人のほか、中学生や高校生も大勢詰め掛け、真剣な表情で講演を聴いていました。



▲深夜パトロールなどの経験を熱く語る夜回り先生

マ 米山で姉妹都市交流事業
ラソンで友好を深め合う

市と姉妹都市の関係にある富山県入善町に、交流団（小中学生12人・ジュニアリーダー1人）が11月18日から20日までの3日間訪れました。交流団は「第14回扇状地マラソンINにゅうぜん」に参加。この大会は清流「黒部川」に造りだされた扇状地を駆け抜けるコースが魅力で、全国から毎年多くのランナーが参加しています。結果は中学生女子の部で千葉沙紀さん（米山中）が第8位、小学生男子・女子の部で橋本光晟くん（とよ）と大柳麗さん（ともに中津山小）が第5位に入賞するなど、全員が完走しました。



▲大会では交流団12人全員が完走し地元の児童らと交流しました

手 東和で「米川てづくり文化祭」
づくりの祭りで地域交流

「みごとに開花・かおり高い文化」をテーマに、「米川てづくり文化祭」が12月2、3日の両日、米川公民館で開催されました。写真や絵画の展示、舞踊、カラオケなどの発表を通して、地域住民の交流を深めることが目的で4回目の開催。ステージでは、米川聖マリア保育園の園児が遊戯を披露し、小さい体で元気いっぱいに踊り、会場から盛んな拍手が送られました。また、屋外では旬の野菜や果物を販売する地場産品コーナーなども設けられ、大勢の来場者でにぎわいました。



▲会場がひとときわ沸いた米川聖マリア保育園の園児による遊戯

淡 中田で室内楽交響曲演奏会
い灯りの中で交響曲を

第11回室内楽交響曲の世界「冬の調べ」が12月16日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。東北大学交響曲楽団OBと木の家合奏団からピアノ、バイオリン、ビオラ、フルートの演奏者を迎え、日本の音楽をピアノとバイオリンの独奏を中心に、フルートを交えた室内楽交響曲が演奏されました。集まった100人の観客は、記念館の中庭に飾られた約3万5千個のイルミネーションが、淡い灯りの輝きを見せる中、静かで心に染みる音色をうっとり聴いていました。



▲クリスマスムードの漂う館内が美しい音色に包まれました